

向島ニュータウンまちづくりビジョン案検討資料 概要

向島ニュータウンの現状・課題

【現状・課題】

- 少子高齢化・人口減少が全市域を遙かに上回るペースで進行
- 公営住宅比率が高く、コミュニティミックスの課題がある
- 子育て層の受け皿住宅が不足、公園などの共用部老朽化で魅力が低下
- NT全体で集まれるコミュニティ拠点がない
- 高齢社会に備えた、その人らしく安心して住み続けることができるまちづくり
- 子育て層を呼び込む地域ぐるみの支援
- 食や学習を支える、居場所確保や見守りなどの子どもの貧困対策
- 防災にかかる基本情報（避難方法や避難所など）の周知
- 中国帰国者の生活支援のネットワークづくりや防災対策
- 豊かな歴史文化を活かしたイメージ付け
- 誇りにつながる教育・子育て環境づくり
- 安心して住み続けることができる商業機能確保
- まちづくりをアピールし、イメージ向上のための情報発信
- ビジョン実現に向けた推進体制づくり

【資源・強み】

- 交通至便、多様な住宅と公園などの住環境、公営住宅の空き家
- 身近なコミュニティ拠点である街区集会所
- まちづくりに活用できる小中一貫校の学校跡地や公団用地
- 地域包括ケアをめざす医療介護事業所基盤
- 高齢者や障害者を支える学区社協、民生委員
- 保育園、幼稚園、児童館等の子育て支援拠点
- 子ども食堂や学習支援の取組、児童館の取組
- まちづくりイベントや、街区集会所の集い事業
- 自主防災組織を中心とした防災活動
- 公園や街区の清掃など住民による環境美化活動
- 外国人や国際色豊かな教育・子育て環境
- 中国帰国者の自主グループ活動
- 巨椋池にかかる景観資源や農に関する資源
- 生涯学習拠点である向島図書館、コミュニティFMによる情報発信
- 生活を支える商店会やスーパー、活用可能性のある空き店舗

向島ニュータウンのまちづくりの方向性

まちづくりビジョンは、向島ニュータウンがこれから目指すまちの姿を示し、住民、事業者、行政がともに共有したうえで、実現するための方針やテーマ、今後4年間で具体的に検討、または取り組んでいくプロジェクトについて記載します。

向島ニュータウンの
目指すまちのすがた（案）

**各世代と多文化が支え合い共生し・子どもを育み・誰もが安心・安全に暮らせるまち
～「子ども元気」・「健康長寿」・「多文化共生」まちづくり宣言～**

キーワード

- ・共生（高齢者、障がい者、外国人、誰もが）
- ・多文化（外国人、中国帰国者）
- ・若い世代・子育て層が増えるまち、住みたくなるまち、子どもを大切にす
- ・安心・安全に暮らせる
- ・いのちを大切にし、守る、一人ひとりを大切にする

方針及びテーマ

方針	テーマ
I 向島の豊かな歴史文化や自然環境を活かしたまちづくりと情報発信	1 歴史資源を活かした情報発信とイメージ付け
	2 向島に人を呼び込むための各種ツーリズムの検討
	3 多文化交流のまち
	4 向島の魅力・情報の発信
II 若い世代・子育て世帯に魅力的で、住みたいまちづくり	5 まち全体で子育てに関わり、誰もが安心して子育てができる環境
	6 子育て世帯・若者世代転入を促進するための住環境整備など
III 誰もが元気で活躍できる場・仕組づくりー医療介護面での包括的な支援体制づくりー	7 誰もがその人らしく安心して元気に住み続けるための拠点・生きがいづくり、環境づくり
	8 地域ぐるみの支え合いの取組強化 ～医療福祉面等での包括的な支援体制～
IV 「ひと」と「住まい」の状況に応じた防災・防犯のまちづくり	9 支え合い、助け合う、災害に負けないまちづくり・ひとづくり
	10 まちへの関心を高め、住民がともに見守り、参加する防犯・交通安全活動
V 既存用地や商店街の更なる有効活用による生活利便性があり、にぎわいのあるまちづくり	11 更に利用しやすい商店街を目指した活用 ～生活に必要なものが手に入る環境～
	12 既存用地・施設の更なる有効活用 ～既存ルールにとらわれない大胆な商業機能～ ～向島の資源をいかした商業～
	13 ニュータウン内外の公共交通・移動の利便性向上
VI まちの活性化のための中長期的な土地利用計画の見直し	14 向島二の丸小学校・向島中学校敷地の活用
	15 土地利用計画の見直し
	16 コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内住宅全体のあり方の検証

推進体制ーまちづくりビジョンを推進するための体制・仕組みづくり

- ・まちづくりビジョンの推進体制の確立（全体の協議体と取組推進の部会組織等）
- ・まちづくりビジョンに基づく住民主体の取組を支援する制度の検討
- ・まちづくりビジョンの各事業の実施をサポートするまちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討

①**将来構想**＝将来構想（アイデア）段階のもので、今後具体化にむけた検討が必要なもの。②**継続検討**＝内容が固まりつつあり、引き続き具体化に向けた検討（取組内容・実施主体等）が必要なもの。③**実施（調整）段階**＝これまでの取組を拡充するもの、及びビジョン策定後速やかに取組を実施していくため調整中のもの。

重点＝向島のまちづくりの将来的な方向性に関わる項目であり、時間がかかっても着実に進めるべき取組（イメージ付けと**情報発信・拠点・受け皿づくり**）、**喫緊**＝地域が抱える課題で喫緊に対応していくべき項目（**子どもや中国帰国者などの福祉・防災**）

方針	テーマ	アクション	プロジェクト	プログラム＝具体的な取組	重点	喫緊	取組の段階
I 向島の豊かな歴史文化や自然環境を活かしたまちづくりと情報発信	1 歴史資源を活かした情報発信とイメージ付け	1 豊かな歴史資源をまちづくりに活かすとともに、向島における歴史文化イメージ付けを図る情報を発信	1-1 向島の歴史アピール資料の調製	1 向島紹介本作成及びネット発信	●		継続検討
				2 小中等での学習教材化検討			継続検討
			1-2 向島城歴史まちあるきの実施	3 向島城～伏見城マップづくり			実施（調整）段階
				4 向島城～立て札・碑等設置			実施（調整）段階
				5 向島城～伏見城ツアー検討			実施（調整）段階
			1-3 小中一貫校を呼び水とした、NT外への子育て世帯へのPR	6 小中一貫校のPR	●		継続検討
			1-4 向島図書館を拠点とした情報の収集、発信の充実検討	7 向島図書館を拠点とした情報の収集、発信			継続検討
	1-5 向島ニュータウン、地域が一体となったイベントの開催	8 向島ニュータウン秋の祭典などの開催			実施（調整）段階		
	2 向島に人を呼び込むための各種ツアーの検討	2 農や自然環境をまちづくりに活かす	2-1 向島アグリツーリズムの検討	9 農業体験メニューの検討			将来構想
				10 ファーマーズマーケット実施の検討			将来構想
				11 子どもの食育の取組との連携など			将来構想
	3 多文化交流のまち	3 多文化交流のまち・向島をアピール	2-2 向島グリーンツーリズムの検討	12 自然を生かした周遊コースの検討など			将来構想
			3-1 留学生と地域、子どもの交流促進の検討	13 留学生と地域、子どもの交流促進の検討			将来構想
			3-2 市営住宅における外国籍住民の自治会加入等支援	14 入居時加入支援、入居後相談体制の充実			継続検討
	4 向島の魅力・情報の発信	4 魅力・情報発信媒体の作成・活用	4-3 向島NT（地域）内外へ地域情報を発信するポータルサイトの開設、運営	15 外国語表示の充実など			継続検討
				16 既存施設の有効活用	●		継続検討
				17 向島NT（地域）内の互いにルーツの異なる世帯同士の交流促進	●		将来構想
		5 ニュータウン全体の拠点づくりの検討（学校敷地活用も視野に入れて）	5-1 住民誰もが集える、まちづくりをはじめとした活動等の拠点づくり	18 人を呼び込むPR広報	●		実施（調整）段階
				19 PR動画の作成・発信			継続検討
				20 まちづくり通信の発行			実施（調整）段階
				21 地域FM局（団地ラジオ）の設立・運営の検討			継続検討
	5-2 地域ぐるみの障がい者、高齢者の共生の拠点づくり（ネットワークづくり）の検討	5-3 学校敷地における、住民が集える拠点（多世代コミュニティセンター）設置の検討	22 ポータルサイト開設・運営	●		継続検討	
			23 既存施設の有効活用	●		実施（調整）段階	
			24 既存施設の有効活用による検討	●		継続検討	
			25 設置の検討	●		将来構想	
	5-4 学校敷地に拠点ができた場合における、拠点の運営主体となる住民組織、NPOの検討	26 拠点の運営主体となる住民組織、NPOの準備・検討	●		将来構想		

①将来構想=将来構想(アイデア)段階のもので、今後具体化にむけた検討が必要なもの。②継続検討=内容が固まりつつあり、引き続き具体化に向けた検討(取組内容・実施主体等)が必要なもの。③実施(調整)段階=これまでの取組を拡充するもの、及びビジョン策定後速やかに取組を実施していくため調整中のもの。

重点=向島のまちづくりの将来的な方向性に関わる項目であり、時間がかかっても着実に進めるべき取組(イメージ付けと情報発信・拠点・受け皿づくり)、喫緊=地域が抱える課題で喫緊に対応していくべき項目(子どもや中国帰国者などの福祉・防災)

方針	テーマ	アクション	プロジェクト	プログラム=具体的な取組	重点	喫緊	取組の段階	
II 若い世代・子育て世帯に魅力的で、住みたいまちづくり	5 まち全体で子育てに関わり、誰もが安心して子育てができる環境	6 子どもが活躍し、親が支える仕組み、子どもの可能性を広げるためのコミュニティ、拠点づくり	6-1 学区、街区を越えた子どもが活躍できる場、機会づくり	27 地域FM局(団地ラジオ)の番組への子ども出演など			継続検討	
				28 ポータルサイトへの子ども取材など			継続検討	
			6-2 親同士の情報共有、相互理解、支え合う環境づくり(挨拶、パトロール、交流企画等)の検討	29 環境づくりの検討			将来構想	
			6-3 子育てOBOGや学校教員OBOGによる「地域先生コミュニティ」づくりの検討	30 「地域先生コミュニティ」づくりの検討			将来構想	
			6-4 住民主体による、既存施設(例:児童館など)を場として活用し子どもが楽しみ学べる拠点「アフター5スクール」づくり	31 「アフター5スクール」づくりの検討			将来構想	
			6-5 京都文教大学学生をはじめとした学生・子どもたちとの交流	32 京都文教大学大学生との交流実施			実施(調整)段階	
				33 学生センター留学生との交流実施			実施(調整)段階	
			7 まちぐるみでの子育て支援の拠点・仕組みづくり	7-1 街区集会所等の子育てサポート体制づくり(既存施設の活用改修による必要なサポート(子育てサロン、一時預かり、子育て相談などの場の提供)…11に再掲、12-1と同時実施)	34 街区毎の子育てサポート体制づくり	●		継続検討
		7-2 子育て支援施設や自治会、街区毎のサポート体制との連携促進		35 街区毎の子育てサポート体制等との連携促進			継続検討	
		7-3 京都文教マイタウン向島(MJ)での子ども食堂(キッズキッチン)、学習支援の取組充実		36 MJでの取組充実		●	実施(調整)段階	
	7-4 子どもを対象とした支援の拡充(夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援等)	37 子どもを対象とした支援の拡充(夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援等)			●	継続検討		
	7-5 子どもを育てる親世代への支援の拡充(相談体制づくり等)	38 子どもを育てる親世代への支援の拡充(相談体制づくり等)			●	継続検討		
		6 子育て世帯・若者世代転入を促進するための住環境整備など	8 住宅の魅力向上(学校敷地活用も視野に入れて)	8-1 市営住宅における子育て世代、若者世代転入促進を図るリノベーション拡充	39 市営住宅の子育て世帯向け等のリノベーション			実施(調整)段階
	8-2 市営住宅一般住戸の空き家整備時等における仕様改善(特に浴室関連)…12に再掲			40 市営住宅一般住戸の空き家整備時における改善			継続検討	
	8-3 市営住宅の空き家活用による、学生入居や事業者等入居、地域による子育て支援用途使用や、空き家転用による子育て世代、若者世代入居促進の検討			41 空き家活用による学生、事業者等入居の検討			将来構想	
				42 地域による子育て支援用途使用の検討			将来構想	
				43 空き家転用による子育て世代、若者世代入居促進の検討			将来構想	
	8-4 分譲住宅(戸建、高層共同)の価値や魅力向上策の検討			44 方策検討			将来構想	
	8-5 学校敷地における、小中一貫教育校開設による世帯流入の受け皿としての住戸整備	45 整備の検討			将来構想			

①将来構想＝将来構想（アイデア）段階のもので、今後具体化にむけた検討が必要なもの。②継続検討＝内容が固まりつつあり、引き続き具体化に向けた検討（取組内容・実施主体等）が必要なもの。③実施（調整）段階＝これまでの取組を拡充するもの、及びビジョン策定後速やかに取組を実施していくため調整中のもの。

重点＝向島のまちづくりの将来的な方向性に関わる項目であり、時間がかかっても着実に進めるべき取組（イメージ付けと情報発信・拠点・受け皿づくり）、喫緊＝地域が抱える課題で喫緊に対応していくべき項目（子どもや中国帰国者などの福祉・防災）

方針	テーマ	アクション	プロジェクト	プログラム＝具体的な取組	重点	喫緊	取組の段階					
Ⅱ	若い世代・子育て世帯に魅力的で、住みたいまちづくり	6	子育て世帯・若者世代転入を促進するための住環境整備など	9	共用施設の再生・バリアフリー化によるまちの魅力向上	9-1	中央公園、東公園の自然を生かした再生（子ども～大人まで住民参加で楽しく、散策する公園から、利用する公園に）	46	鬱蒼とした中央公園、東公園の樹木等の再整備（公園トイレのバリアフリー化及び入口柵のバリアフリー化改修については継続検討段階）	●		実施（調整）段階
						9-2	街区児童公園（二の丸、丸町）の住民と行政の連携によるよりよい管理のあり方の検討	47	地域住民による利用促進のための手法の検討			継続検討
						9-3	街区児童公園（二の丸、丸町）の住民と行政の連携によるよりよい管理のあり方の検討	48	管理のあり方検討			継続検討
						9-4	老朽化した横断防止柵等の補修・再塗装など	49	老朽化した横断防止柵等の補修・再塗装など			実施（調整）段階
						9-5	市営住宅共用施設、住宅供給公社共用施設、設備の改修	50	老朽化の進む共用施設部分の改修			実施（調整）段階
				10	まちづくりの気運を高める市民参加型プロジェクト実施	10-1	中央公園への防災設備の設置の検討	51	中央公園への防災設備の設置の検討			継続検討
						10-2	住環境パトロール活動（市営住宅の管理ルールの徹底やごみ、駐輪場、ペットなどのマナー向上）の検討	52	住環境パトロール活動の検討			実施（調整）段階
				11	身近な拠点として街区集会所等の活用促進	再掲	共用空間の再生ワークショップ（子ども～大人まで住民参加で楽しく）実施の検討	53	再生ワーワークショップ実施の検討			将来構想
							再掲	街区集会所等の子育てサポート体制づくり（既存施設の活用改修による必要なサポート（子育てサロン、一時預かり、子育て相談などの場の提供）…7-1の再掲、12-1と同時実施	再掲	街区毎の子育てサポート体制づくり	(●)	
						11-1	市営住宅集会所の地域団体運営による街区毎子育てサポート、高齢者サポート実施のためのリニューアル整備	54	市営住宅管理事務所のリニューアル整備			継続検討

①将来構想=将来構想(アイデア)段階のもので、今後具体化にむけた検討が必要なもの。②継続検討=内容が固まりつつあり、引き続き具体化に向けた検討(取組内容・実施主体等)が必要なもの。③実施(調整)段階=これまでの取組を拡充するもの、及びビジョン策定後速やかに取組を実施していくため調整中のもの。

重点=向島のまちづくりの将来的な方向性に関わる項目であり、時間がかかっても着実に進めるべき取組(イメージ付けと情報発信・拠点・受け皿づくり)、喫緊=地域が抱える課題で喫緊に対応していくべき項目(子どもや中国帰国者などの福祉・防災)

方針	テーマ	アクション	プロジェクト	プログラム=具体的な取組	重点	喫緊	取組の段階		
Ⅲ 誰もが元気で活躍できる場・仕組づくりー医療介護面での包括的な支援体制づくりー	7 誰もがその人らしく安心して元気に住み続けるための拠点・生きがいづくり、環境づくり	12 身近な暮らし安心拠点や住戸の整備	12-1	街区集会所等の高齢者サポート拠点づくり(介助ステーション、食事スペース、バリアフリー整備などのリニューアルなど)…7-1(11再掲)と同時実施	55	街区毎の高齢者サポート拠点づくり	●	継続検討	
			12-2	市営住宅の空き家の、高齢者サポート拠点としての活用検討	56	街区毎の高齢者サポート拠点づくり	●	継続検討	
			12-3	健康づくりや居場所にかかる事業の連携、情報の共有	57	健康づくりや居場所にかかる事業の連携、情報の共有			将来構想
			12-4	市営住宅EVホール付近へのデイサービス車両等の乗り入れ環境向上の検討	58	進入路調査・検討			将来構想
			再掲	市営住宅一般住戸の空き家整備時等における仕様改善(特に浴室関連)…8-2の再掲	再掲	市営住宅一般住戸の空き家整備時における改善			継続検討
		5の再掲	再掲	住民誰もが集える、まちづくりをはじめとした活動等の拠点づくり…5-1再掲	再掲	既存施設の有効活用	(●)		実施(調整)段階
			再掲	地域ぐるみの障がい者、高齢者の共生の拠点づくり(ネットワークづくり)の検討…5-2再掲	再掲	既存施設の有効活用による検討	(●)		継続検討
			再掲	学校敷地における、住民が集える拠点(多世代コミュニティセンター)設置の検討…5-3再掲	再掲	設置の検討	(●)		将来構想
			再掲	学校敷地に拠点ができた場合における、拠点の運営主体となる住民組織、NPOの検討…5-4再掲	再掲	拠点の運営主体となる住民組織、NPOの準備・検討	(●)		将来構想
			8 地域ぐるみの支え合いの取組強化～医療福祉面等での包括的な支援体制～	13 ひとりにしない、人とながる見守れるしくみづくり	13-1	地域FM局(団地ラジオ)での高齢者障がい者中国帰国者参加の番組づくり	59	高齢者障がい者中国帰国者参加番組の検討	
	13-2	高齢者配食サービス、御用聞き、安否確認などを組み合わせた生活支援サービス事業実施の検討…21に再掲			60	配食等を組み合わせた生活支援サービスの検討			将来構想
	14 中国帰国者の生活課題解決に向けた取組	14-1		中国帰国者の生活実態調査	61	中国帰国者の生活実態調査		●	実施(調整)段階
		14-2		中国帰国者間のネットワークづくり	62	中国帰国者間のネットワークづくり		●	継続検討
		14-3		中国帰国者の医療、福祉的取組の支援(介護予防教室の実施規模等拡大、二世への(医療)通訳、二世のヘルパー資格取得など)	63	介護予防教室の実施規模等拡大(場所確保、呼び掛け)		●	継続検討
	64		中国帰国者の生活実態調査において通訳支援の課題やニーズを把握し、国への要望を検討			●	継続検討		
	再掲	多文化共生の活動拠点確保、交流促進…3-3(前半部分)の再掲	再掲	既存施設の有効活用	●		将来構想		

①将来構想＝将来構想（アイデア）段階のもので、今後具体化にむけた検討が必要なもの。②継続検討＝内容が固まりつつあり、引き続き具体化に向けた検討（取組内容・実施主体等）が必要なもの。③実施（調整）段階＝これまでの取組を拡充するもの、及びビジョン策定後速やかに取組を実施していくため調整中のもの。

重点＝向島のまちづくりの将来的な方向性に関わる項目であり、時間がかかっても着実に進めるべき取組（イメージ付けと情報発信・拠点・受け皿づくり）、喫緊＝地域が抱える課題で喫緊に対応していくべき項目（子どもや中国帰国者などの福祉・防災）

方針	テーマ	アクション	プロジェクト	プログラム＝具体的な取組	重点	喫緊	取組の段階			
IV	「ひと」と「住まい」の状況に応じた防災・防犯のまちづくり	9 支え合い、助け合う、災害に負けないまちづくり・ひとづくり	15 防災に必要な情報の把握と発信	15-1 ニュータウン周辺を含めた災害想定の見直し	66	ニュータウン周辺を含めた災害想定の見直し	●	実施（調整）段階		
					67	街区毎の防災準備状況の定期チェックとノウハウ共有	●	継続検討		
					68	配慮が必要な住民（障がい者、高齢者）の把握と情報共有	●	継続検討		
					69	防災避難に必要な正しい情報を子どもから大人までが学ぶ場づくり		将来構想		
			15-2 情報発信等のバリアフリー化	70	周知媒体、マニュアル等の情報バリアフリー化（中国語含めた多言語化、視覚聴覚障害への配慮）	●	継続検討			
				71	多様な（二重三重の）情報発信：マスメディア、スマートフォン、街区内スピーカーや地域FM局（団地ラジオ）（各商店街、各街区への配信）の活用	●	継続検討			
				16-1 防災訓練の見直し、充実	72	モデル住棟を決めた避難行動シートづくり（街区、住棟ごとの適切な避難場所、行動方法の確立）	●	実施（調整）段階		
					73	災害時要配慮者の避難誘導、支援の関係づくり、体制づくり	●	継続検討		
			74		防災訓練の見直し、充実（中学生の参加、障がい者や中国帰国者の参加）		将来構想			
			16-2 市営住宅上層階の空き家の避難所活用、整備	75	空き家の避難所向け整備、目的外使用許可		継続検討			
				76	運用マニュアル等の作成など		継続検討			
				16-3 中央公園への防災設備の設置の検討（9-5再掲、建設局確認中）、京都文教大学敷地、設備の災害時活用の検討	再掲	中央公園への防災設備の設置の検討		継続検討		
					77	京都文教大学敷地、設備の災害時活用の検討		将来構想		
			16-4 地域防災組織の充実（各学区自主防災会、消防団、水防団など）の検討	78	地域防災組織の充実の検討		将来構想			
		17-1 福祉避難所の機能発揮に向けた準備の検討		79	福祉避難所の機能発揮に向けた準備の検討		将来構想			
			17-2 長期避難時の必要資材（災害時要配慮者への対応）や拠点等の確保の検討	80	長期避難時の必要資材や拠点等の確保の検討		将来構想			
		18-1 分譲住宅の耐震化にむけた取組		81	分譲住宅の耐震化に関する公的補助制度の周知		実施（調整）段階			
			82	耐震化に関する勉強会等の開催の検討		将来構想				
			18-2 大規模災害対応のための将来的な検討	83	液状化を想定した対応策の検討		将来構想			
				84	堤防の整備、要望検討		将来構想			
		10 まちへの関心を高め、住民がともに見守り、参加する防犯・交通安全活動	19 安全安心なまちづくりに向けた意識向上の取組など	19-1 住民による危険箇所等の把握と防犯に向けた取組	85	安全安心の観点からの見守り活動の充実			実施（調整）段階	
					86	住民による危険箇所の把握、マップづくり			継続検討	
					87	住民による危険箇所における美化活動の充実			将来構想	
					88	危険箇所（暗がりなど）樹木の伐採、街路灯の設置			継続検討	
					89	安全・危険情報の地域内周知			継続検討	
			20 交通安全の確保など	20-1 自転車・自動車による事故防止	90	防犯カメラの設置、普及、メンテナンスの更なる支援検討			将来構想	
					20-2 歩行者・通学路の安全の確保	91	交通安全の観点からの見守り活動の充実			実施（調整）段階
						92	大人の交通マナーの啓発、意識向上に向けた取組の検討			将来構想
93	中国帰国者（交通ルールの違いを前提とした）の交通安全教室等の実施の検討							継続検討		
94	横断歩道の場所や拡充の住民での検討、提案							将来構想		
95	一貫校開設までに、開校時の通学路変更等に伴う課題に対する対応の検討			継続検討						

①**将来構想**=将来構想（アイデア）段階のもので、今後具体化にむけた検討が必要なもの。②**継続検討**=内容が固まりつつあり、引き続き具体化に向けた検討（取組内容・実施主体等）が必要なもの。③**実施（調整）段階**=これまでの取組を拡充するもの、及びビジョン策定後速やかに取組を実施していくため調整中のもの。

重点=向島のまちづくりの将来的な方向性に関わる項目であり、時間がかかっても着実に進めるべき取組（イメージ付けと情報発信・拠点・受け皿づくり）、**喫緊**=地域が抱える課題で喫緊に対応していくべき項目（子どもや中国帰国者などの福祉・防災）

方針	テーマ	アクション	プロジェクト	プログラム=具体的な取組	重点	喫緊	取組の段階
V 既存用地や商店街の更なる有効活用による生活利便性があり、にぎわいのあるまちづくり	11 更に利用しやすい商店街を目指した活用～生活に必要なものが手に入る環境～	21 買い物が困難な街区や住民が身近に生活必需品や生鮮食品が買える環境づくり	再掲 高齢者配食サービス、御用聞き、安否確認などを組み合わせた生活支援サービス事業実施の検討…13-2の再掲	再掲 配食等を組み合わせた生活支援サービスの検討			将来構想
			21-1 高齢者や障がい者の買い物実態調査の実施の検討	96 高齢者や障がい者の買い物実態調査の実施の検討			将来構想
			21-2 バリアフリー化による買い物利便性の向上	97 支障箇所等調査、改善要望等の検討			将来構想
	12 既存用地・施設の更なる有効活用～既存ルールにとられない大胆な商業機能～ ～向島の資源をいかした商業～	22 にぎわい・商業施設の実現	22-1 向島駅前の活性化	98 向島駅前駐輪場の再整備による店舗設置			継続検討
			22-2 6街区商店街の活性化（向島に人が集まる起爆剤としての活用などの検討を含む）	99 24号線沿いに外を向いた商業施設整備（道の駅など）の検討			継続検討
				100 空き店舗の活用（チャレンジショップなど若い人の出店参入奨励）			継続検討
				101 若年者向け割引制度の活用による空店舗出店者の住宅確保			継続検討
	22-3 スポーツ施設跡地活用の検討	102 スポーツ施設跡地活用の検討			将来構想		
	23 向島の資源・特徴を生かした地産地消ビジネス・拠点	23-1 向島の資源・特徴を生かした地産地消ビジネス・拠点等の設置の検討	103 既存用地を活用した向島の野菜マルシェの実施の検討			将来構想	
			104 中国帰国者の住民の力を活かした多文化商業拠点設置の検討			将来構想	
	13 ニュータウン内外の公共交通・移動の利便性向上	24 生活に不可欠なバス機能の維持・充実	24-1 既存路線バス（近鉄バス）の利便性向上に向けた取組	105 既存路線バス（近鉄バス）ルート、時刻等の改善提案のための交通利用実態調査			実施（調整）段階
				106 既存路線バス（近鉄バス）のバリアフリー化の要望			継続検討
		107 既存路線バス（近鉄バス）の増便等利便性向上に向けた住民自身の利用促進の取組				将来構想	
		25 向島ニュータウンの特性と状況をふまえた新たな交通機能の検討	25-1 ニュータウン内の新しい交通機能の検討	108 既存スクールバスや医療機関のバスの活用の検討			将来構想
				109 住民、大学生らが運転手となる自転車タクシーの検討			将来構想
			110 自動運転技術などの導入可能性調査の検討など			将来構想	

①**将来構想**=将来構想（アイデア）段階のもので、今後具体化にむけた検討が必要なもの。②**継続検討**=内容が固まりつつあり、引き続き具体化に向けた検討（取組内容・実施主体等）が必要なもの。③**実施（調整）段階**=これまでの取組を拡充するもの、及びビジョン策定後速やかに取組を実施していくため調整中のもの。

重点=向島のまちづくりの将来的な方向性に関わる項目であり、時間がかかっても着実に進めるべき取組（イメージ付けと情報発信・拠点・受け皿づくり）、**喫緊**=地域が抱える課題で喫緊に対応していくべき項目（子どもや中国帰国者などの福祉・防災）

方針	テーマ	アクション	プロジェクト	プログラム=具体的な取組	重点	喫緊	取組の段階				
VI まちの活性化のための中長期的な土地利用計画の見直し	14	向島二の丸小学校・向島中学校敷地の活用	26	向島二の丸小学校・向島中学校敷地の活用	26-1	向島NT（地域）の活性化に向けた向島二の丸小学校・向島中学校敷地の活用（5-3, 8-5に掲げるものが意見としてWG等では出されている）	111	ビジョンの方針に沿った活用方法の検討	●		将来構想
	15	土地利用計画の見直し	27	土地利用計画の見直し	27-1	向島二ノ丸小学校・向島中学校敷地その他の有効活用等に向けた土地利用計画の見直しの検討	112	土地利用計画（都市計画「一団地の住宅施設」、用途地域など）の見直しの検討	●		継続検討
	16	コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証	28	コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証	28-1	コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証	113	コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証	●		将来構想
推進体制	-	まちづくりビジョンを推進するための体制・仕組みづくり	-	まちづくりビジョンの推進体制の確立（全体の協議体と取組推進の部会組織等）	-	まちづくりビジョンの進行管理及びアクションプログラム継続検討分の更なる検討を行っていく組織を設立	114	向島NT内全自治会（※）と連携した「ビジョン推進会議（仮称）」の設置	●		実施（調整）段階
					-	継続的な担い手の発掘育成	115	具体プログラムの継続検討			実施（調整）段階
					-	推進体制の円滑な運営支援	116	担い手の発掘・育成			実施（調整）段階
					-	推進体制の円滑な運営支援	117	MJや学生セミナーハウス1階を活用したカフェ等による交流			実施（調整）段階
	-	まちづくりビジョンに基づく住民主体の取組を支援する制度の検討	-	取組の初動期を支援する助成制度の検討	118	取組の初動期を支援する助成制度の検討	●		継続検討		
-	まちづくりビジョンの各事業の実施をサポートするまちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討	-	資金的サポート（収益事業の実施と課題解決に向けた取組への還元など）、人的サポート、団体間のコーディネートなどの実施を想定したまちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討	119	まちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討			将来構想			

向島ニュータウン まちづくりビジョン案検討資料

※ 本資料は、「向島ニュータウンまちづくりビジョン」案策定に向けて検討を進めるためのものであり、アイデアレベルのものも含まれています。

第3回検討会以降に開催されるワーキンググループでの検討事項や、今後、関係する実施主体との調整等を踏まえ、引き続き具体的な内容の精査を図っていきます。

向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会

目次構成

1. 向島ニュータウンの現状・課題
2. 向島ニュータウンのまちづくりの方向性
3. 向島ニュータウンまちづくりビジョン
4. 推進体制

1. 向島ニュータウンの現状・課題

【現状・課題概況】

- 少子高齢化・人口減少が全市域を遙かに上回るペースで進行している。
- 公営住宅比率が高く、コミュニティミックスの課題がある。
- 子育て層の受け皿住宅が不足しており、公園などの共用部老朽化で魅力が低下している。
- ニュータウン全体で集まれるコミュニティ拠点がない。
- 高齢社会に備えた、その人らしく安心して住み続けることができるまちづくりが必要となっている。
- 子育て層を呼び込む地域ぐるみの支援がさらに必要となっている。
- 食や学習を支える、居場所確保や見守りなどの子どもの貧困対策も喫緊の課題となっている。
- 防災にかかる基本情報（避難方法や避難所など）の周知、情報伝達の体制や仕組みづくりが急務となっている。
- 中国帰国者の生活支援のネットワークづくりや防災対策が十分ではなく、急ぎ取り組む必要がある。
- 豊かな歴史文化を活かしたイメージアップが求められている。
- まちづくりをアピールし、イメージ向上のための情報発信に取り組んでいく必要がある。
- 住民やまちの誇りにつながる教育・子育て環境づくりを進める必要がある。
- 安心して住み続けることができる商業機能確保が求められている。
- ビジョン実現に向けた推進体制づくりを進める必要がある。

【資源・強み】

- 向島駅から京都市内や大阪方面への交通が至便である。
- 多様な住宅と公園などの住環境が整備されている。
- 公営住宅の空き家を活用できる可能性がある。
- 身近なコミュニティ拠点である街区集会所があり、住民による活用がされており、今後も活用可能性がある。
- まちづくりに活用できる小中一貫校の学校跡地や公社用地など、比較的大きな土地が存在している。
- 地域包括ケアをめざす医療介護事業所基盤がある。
- 高齢者や障害者を支える学区社協、民生委員の活動が丁寧に行われている。
- 保育園、幼稚園、児童館等の子育て支援拠点が一定整っている。
- 子ども食堂や学習支援の取組、児童館の取組など、子どもを支える活動が多様になってきている。
- まちづくりイベントや、街区集会所の集い事業など、住民主体のコミュニティ活動がある。
- 自主防災組織を中心とした防災活動に熱心に取り組んでいる学区・街区がある。
- 公園や街区の清掃など住民による環境美化活動が行われている。
- 外国人が多く住んでおり、国際色豊かな教育・子育て環境がある。
- 中国帰国者の自主グループ活動による、多文化共生のまちづくりが少しずつ進められている。
- 京都市内のほかの場所にはほとんどない、巨椋池にかかる景観資源や農に関する資源（農地・農産物）がある。
- 生涯学習拠点である向島図書館がある。
- コミュニティFM（団地ラジオ）による住民主体による情報発信が行われている。
- 生活を支える商店会やスーパーが身近にあり、空き店舗も増えているが、今後の活用可能性がある。

2. まちづくりの方向性 検討案

以下のような構成・考え方で資料作成します。

○まちづくりビジョンの位置づけ

まちづくりビジョンは、向島ニュータウンがこれから目指すまちの姿を示し、住民、事業者、行政がともに共有したうえで、実現するための方針やテーマ、今後4年間で具体的に検討、または取り組んでいくプロジェクトについて記載します。

向島ニュータウンの 目指すまちのすがた（案）

各世代と多文化が支え合い共生し・子どもを育み・誰もが安心・安全に暮らせるまち

～「子ども元気」・「健康長寿」・「多文化共生」まちづくり宣言～

「いろいろな世代、いろいろな文化がともに支え合い、1人ひとりが大切にされ、つながり合うまち」を目指します。

キーワード

- ・共生（高齢者、障がい者、外国人、誰もが）
- ・多文化（外国人、中国帰国者）
- ・若い世代・子育て層が増えるまち、住みたくなるまち、子どもを大切にする
- ・安心・安全に暮らせる
- ・いのちを大切にし、守る、一人ひとりを大切にする

3. 向島ニュータウンまちづくりビジョン

(取組期間：H29(2017)～H32(2020)年度)

方針 I

向島の豊かな歴史文化や自然環境を活かしたまちづくりと情報発信

向島ニュータウンには、秀吉が伏見城の向かいに築いた向島城があり、桃山文化の舞台となった歴史資源を備えています。大規模農地である巨椋池は、治水や干拓の歴史があり、水辺の自然環境や太閤堤や集落景観といった歴史景観を備えています。

しかし、これらの豊かな資源があることは住民に知られておらず、まちのイメージは必ずしもよいものとはいえません。向島ならではの豊かな歴史文化や自然環境を情報発信し、訪れる人を呼び込む取組によって、人口定着につながるイメージアップをめざします。

テーマ 1

歴史資源を活かした情報発信とイメージ付け

アクション 1

豊かな歴史資源をまちづくりに活かすとともに、向島における歴史文化イメージ付けを図る情報を発信

プロジェクト 1-1 向島の歴史アピール資料の調製

- (1) 向島紹介本作成及びネット発信 **重点**
- (2) 小中等での学習教材化検討

プロジェクト 1-2 向島城歴史まちあるきの実施

- (3) 向島城～伏見城マップづくり
- (4) 向島城～立て札・碑等設置
- (5) 向島城～伏見城ツアー検討

プロジェクト 1-3 小中一貫校を呼び水とした、NT外への子育て世帯へのPR

- (6) 小中一貫校のPR **重点**

プロジェクト 1-4 向島図書館を拠点とした情報の収集、発信の充実検討

- (7) 向島図書館を拠点とした情報の収集、発信

プロジェクト1-5 向島ニュータウン, 地域が一体となったイベントの開催

(8) 向島ニュータウン秋の祭典などの開催

テーマ2

向島に人を呼び込むための各種ツーリズムの検討

アクション2

農や自然環境をまちづくりに活かす

プロジェクト2-1 向島アグリツーリズムの検討

(9) 農業体験メニューの検討

(10) ファーマーズマーケット実施の検討

(11) 子どもの食育の取組との連携など

プロジェクト2-2 向島グリーンツーリズムの検討

(12) 自然を生かした周遊コースの検討など

テーマ3

多文化交流のまち

アクション3

多文化交流のまち・向島をアピール

プロジェクト3-1 留学生と地域, 子どもの交流促進の検討

(13) 留学生と地域, 子どもの交流促進の検討

プロジェクト3-2 市営住宅における外国籍住民の自治会加入等支援

(14) 入居時加入支援, 入居後相談体制の充実

(15) 外国語表示の充実など

プロジェクト3-3 多文化共生の活動拠点確保, 交流促進…14に再掲あり

(16) 既存施設の有効活用 **重点**

(17) 向島NT(地域)内の互いにルーツの異なる世帯同士の交流促進 **重点**

テーマ 4

向島の魅力・情報の発信

アクション 4

魅力・情報発信媒体の作成・活用

プロジェクト4-1 向島NT(地域)外へ向島に興味を持ってもらう,訪れてもらうための情報発信

(18) 人を呼び込むPR広報 **重点**

(19) PR動画の作成・発信

プロジェクト4-2 向島NT(地域)内への情報発信の継続,充実(まちづくり通信の発行,地域FM局(団地ラジオ))

(20) まちづくり通信の発行

(21) 地域FM局(団地ラジオ)の設立・運営の検討

プロジェクト4-3 向島NT(地域)内外へ地域情報を発信するポータルサイトの開設,運営

(22) ポータルサイト開設・運営 **重点**

アクション 5

ニュータウン全体の拠点づくりの検討(学校敷地活用も視野に入れて)

プロジェクト5-1 住民誰もが集える,まちづくりをはじめとした活動等の拠点づくり

(23) 既存施設の有効活用 **重点**

プロジェクト5-2 地域ぐるみの障がい者,高齢者の共生の拠点づくり(ネットワークづくり)の検討

(24) 既存施設の有効活用による検討 **重点**

プロジェクト5-3 学校敷地における,住民が集える拠点(多世代コミュニティセンター)設置の検討

(25) 設置の検討 **重点**

プロジェクト5-4 学校敷地に拠点ができた場合における,拠点の運営主体となる住民組織,NPOの検討

(26) 拠点の運営主体となる住民組織,NPOの準備・検討 **重点**

方針Ⅱ

若い世代・子育て世帯に魅力的で、住みたいまちづくり

向島ニュータウンは少子高齢化が進み、若者(15歳未満)の数は平成7年からの15年で約4割に減少しています。活気にあふれ、持続可能なまちとなるためには若い世代・子育て世帯が集まり、住むまちにしていくことが必要です。向島ニュータウンは自然が豊かであり、子育て支援施設も充実しています。住民主体による子どもの見守り、居場所づくりの活動が充実しつつあり、親同士のつながりづくりの活動が広がってきています。そして、平成31年度を目処に小中一貫校も開校する予定です。

これらの資源を活かし、まち全体で子育てに関わり、誰もが安心して子育てができる環境をつくっていくとともに、小中一貫校を呼び水としたPRや、必要な住宅の整備もあわせて進めることにより、若い世代・子育て世帯に魅力的で、住みたいまちを実現します。

テーマ5

まち全体で子育てに関わり、誰もが安心して子育てができる環境

アクション6

子どもが活躍し、親が支える仕組み、子どもの可能性を広げるためのコミュニティ、拠点づくり

プロジェクト6-1 学区、街区を越えた子どもが活躍できる場、機会づくり

- (27) 地域FM局(団地ラジオ)の番組への子ども出演など
- (28) ポータルサイトへの子ども取材など

プロジェクト6-2 親同士の情報共有、相互理解、支え合う環境づくり(挨拶、パトロール、交流企画等)の検討

- (29) 環境づくりの検討

プロジェクト6-3 子育てOBOGや学校教員OBOGによる「地域先生コミュニティ」づくりの検討

- (30) 「地域先生コミュニティ」づくりの検討

プロジェクト6-4 住民主体による、既存施設(例:児童館など)を場として活用し子どもが楽しみ学べる拠点「アフター5スクール」づくり

- (31) 「アフター5スクール」づくりの検討

プロジェクト6-5 京都文教大学学生をはじめとした学生・子どもたちとの交流

- (32) 京都文教大学大学生との交流実施
- (33) 学生センター留学生との交流実施

アクション7

まちぐるみでの子育て支援の拠点・仕組みづくり

プロジェクト7-1 街区集会所等の子育てサポート体制づくり(既存施設の活用改修による必要なサポート(子育てサロン, 一時預かり, 子育て相談などの場の提供)…
11に再掲, 12-1と同時実施

(34) 街区毎の子育てサポート体制づくり **重点**

プロジェクト7-2 子育て支援施設や自治会, 街区毎のサポート体制との連携促進

(35) 街区毎の子育てサポート体制等との連携促進

プロジェクト7-3 京都文教マイタウン向島(MJ)での子ども食堂(キッズキッチン), 学習支援
の取組充実

(36) MJでの取組充実 **喫緊**

プロジェクト7-4 子どもを対象とした支援の拡充(夜の安心安全な居場所, 食の支援, 学習
支援等)

(37) 子どもを対象とした支援の拡充(夜の安心安全な居場所, 食の支援, 学習支援等) **喫緊**

プロジェクト7-5 子どもを育てる親世代への支援の拡充(相談体制づくり等)

(38) 子どもを育てる親世代への支援の拡充(相談体制づくり等) **喫緊**

テーマ6

子育て世帯・若者世代転入を促進するための住環境整備など

アクション8

住宅の魅力向上（学校敷地活用も視野に入れて）

プロジェクト8-1 市営住宅における子育て世代、若者世代転入促進を図るリノベーション拡充
(39) 市営住宅の子育て世帯向け等のリノベーション

**プロジェクト8-2 市営住宅一般住戸の空き家整備時等における仕様改善（特に浴室関連）…
12に再掲**

(40) 市営住宅一般住戸の空き家整備時における改善

プロジェクト8-3 市営住宅の空き家活用による、学生入居や事業者等入居、地域による子育て支援用途使用や、空き家転用による子育て世代、若者世代入居促進の検討

(41) 空き家活用による学生、事業者等入居の検討

(42) 地域による子育て支援用途使用の検討

(43) 空き家転用による子育て世代、若者世代入居促進の検討

プロジェクト8-4 分譲住宅（戸建、高層共同）の価値や魅力向上策の検討

(44) 方策検討

プロジェクト8-5 学校敷地における、小中一貫教育校開設による世帯流入の受け皿としての住戸整備

(45) 整備の検討

アクション9

共用施設の再生・バリアフリー化によるまちの魅力向上

プロジェクト9-1 中央公園, 東公園の自然を生かした再生(子ども~大人まで住民参加で楽しく, 散策する公園から, 利用する公園に

(46) 鬱蒼とした中央公園, 東公園の樹木等の再整備(公園トイレのバリアフリー化及び入口柵のバリアフリー化改修) **重点**

(47) 地域住民による利用促進のための手法の検討

プロジェクト9-2 街区児童公園(二の丸, 丸町)の住民と行政の連携によるよりよい管理のあり方の検討

(48) 管理のあり方検討

プロジェクト9-3 老朽化した横断防止柵等の補修・再塗装など

(49) 老朽化した横断防止柵等の補修・再塗装など

プロジェクト9-4 市営住宅共用施設, 住宅供給公社共用施設, 設備の改修

(50) 老朽化の進む共用施設部分の改修

プロジェクト9-5 中央公園への防災設備の設置の検討

(51) 中央公園への防災設備の設置の検討

アクション10

まちづくりの気運を高める市民参加型プロジェクト実施

プロジェクト10-1 住環境パトロール活動(市営住宅の管理ルール of 徹底やごみ, 駐輪場, ペットなどのマナー向上)の検討

(52) 住環境パトロール活動の検討

プロジェクト10-2 共用空間の再生ワークショップ(子ども~大人まで住民参加で楽しく)実施の検討

(53) 再生ワークショップ実施の検討

アクション11

身近な拠点として街区集会所等の活用促進

プロジェクト7-1再掲 街区集会所等の子育てサポート体制づくり(既存施設の活用改修による必要なサポート(子育てサロン, 一時預かり, 子育て相談などの場の提供)…12-1 と同時実施

(再) 街区毎の子育てサポート体制づくり **重点**

プロジェクト11-1 市営住宅集会所の地域団体運営による街区毎子育てサポート, 高齢者サポート実施のためのリニューアル整備

(54) 市営住宅管理事務所のリニューアル整備

方針Ⅲ

誰もが元気で活躍できる場・仕組づくり

－医療介護面での包括的な支援体制づくり－

向島ニュータウンは京都市全域を遙かに上回るペースで、少子高齢化、人口減少が進行しています。また、セーフティネットとしての公営住宅が集中していることから、生活に困難を抱える住民が多くなっています。その一方で、中国帰国者や外国人をはじめとする多様な住民の生活があり、共生社会を実現していく可能性をもっています。

誰もが元気で活躍できる場やしきみづくりによって、まちづくりの担い手である住民などの力を引き出し、誰もが共生し、その人らしく安心して住み続けることができるまちをめざします。

テーマ7

誰もがその人らしく安心して元気に住み続けるための拠点・生きがいづくり、環境づくり

アクション12

身近な暮らし安心拠点や住戸の整備

プロジェクト12-1 街区集会所等の高齢者サポート拠点づくり(介助ステーション, 食事スペース, バリアフリー整備などのリニューアルなど)…7-1 と同時実施

(55) 街区毎の高齢者サポート拠点づくり **重点**

プロジェクト12-2 市営住宅の空き家の, 高齢者サポート拠点としての活用検討

(56) 街区毎の高齢者サポート拠点づくり **重点**

プロジェクト12-3 健康づくりや居場所にかかる事業の連携, 情報の共有

(57) 健康づくりや居場所にかかる事業の連携, 情報の共有

プロジェクト12-4 市営住宅EVホール付近へのデイスサービス車両等の乗り入れ環境向上の検討

(58) 進入路調査・検討

プロジェクト8-2再掲 市営住宅一般住戸の空き家整備時等における仕様改善(特に浴室関連)

アクション5（再掲）

ニュータウン全体の拠点づくりの検討（学校敷地活用も視野に入れて）

プロジェクト5-1再掲 住民誰もが集える、まちづくりをはじめとした活動等の拠点づくり
（再）既存施設の有効活用 **重点**

プロジェクト5-2再掲 地域ぐるみの障がい者、高齢者の共生の拠点づくり（ネットワークづくり）の検討

（再）既存施設の有効活用による検討 **重点**

プロジェクト5-3再掲 学校敷地における、住民が集える拠点（多世代コミュニティセンター）設置の検討

（再）設置の検討 **重点**

プロジェクト5-4再掲 学校敷地に拠点ができた場合における、拠点の運営主体となる住民組織、NPOの検討

（再）拠点の運営主体となる住民組織、NPOの準備・検討 **重点**

テーマ 8

地域ぐるみの支え合いの取組強化 ～医療福祉面等での包括的な支援体制～

アクション 13

ひとりにしない，人とつながる見守れるしくみづくり

プロジェクト13-1 地域FM局(団地ラジオ)での高齢者障がい者中国帰国者参加の番組づくり
(59) 高齢者障がい者中国帰国者参加番組の検討

プロジェクト13-2 高齢者配食サービス，御用聞き，安否確認などを組み合わせた生活支援
サービス事業実施の検討…21に再掲
(60) 配食等を組み合わせた生活支援サービスの検討

アクション 14

中国帰国者の生活課題解決に向けた取組

プロジェクト14-1 中国帰国者の生活実態調査
(61) 中国帰国者の生活実態調査 **喫緊**

プロジェクト14-2 中国帰国者間のネットワークづくり
(62) 中国帰国者間のネットワークづくり **喫緊**

プロジェクト14-3 中国帰国者の医療，福祉的取組の支援(介護予防教室の実施規模等拡大，二世への(医療)通訳，二世のヘルパー資格取得など)
(63) 介護予防教室の実施規模等拡大(場所確保，呼び掛け) **喫緊**
(64) 中国帰国者の生活実態調査において通訳支援の課題やニーズを把握し，国への要望を検討
(65) 二世，三世のヘルパー資格取得支援の検討 **喫緊**

プロジェクト3-3再掲 多文化共生の活動拠点確保，交流促進
(再) 既存施設の有効活用 **重点**

方針Ⅳ

「ひと」と「住まい」の状況に応じた防災・防犯のまちづくり

向島ニュータウンは干拓地として開発された住宅地であり、周辺には宇治川が流れるなど近年の大雨等による水害の危険性があり、高層住宅が中心であることから地震による耐震や防災も喫緊で取り組まなければならない状況にあります。加えて高齢者、障がい者や中国帰国者などの住民が多いことから、特に防災にむけた日頃の情報伝達、ご近所でのコミュニケーション、災害時のより迅速な対応が必要となっています。

これらの向島ニュータウンの「ひと」と「住まい」の状況に応じた支え合い、助け合いの防災減災の活動を進めるとともに、必要な避難場所、情報発信等の避難、防災設備・環境の整備を進めることで、災害で失わなくてもよい命が守られる、災害に強いまちづくりを進めます。

また、日ごろからのまちへの関心と見守りの充実、交通安全への意識を高めることにより、犯罪や事故に合わない安全安心なまちづくりを進めます。

テーマ 9

支え合い、助け合う、災害に負けないまちづくり・ひとづくり

アクション 15

防災に必要な情報の把握と発信

プロジェクト15-1 ニュータウン周辺を含めた災害想定周知

- (66) ニュータウン周辺を含めた災害想定周知 **喫緊**
- (67) 街区毎の防災準備状況の定期チェックとノウハウ共有 **喫緊**
- (68) 配慮が必要な住民（障がい者、高齢者）の把握と情報共有 **喫緊**
- (69) 防災避難に必要な正しい情報を子どもから大人までが学ぶ場づくり **喫緊**

プロジェクト15-2 情報発信等のバリアフリー化

- (70) 周知媒体、マニュアル等の情報バリアフリー化（中国語含めた多言語化、視覚聴覚障害への配慮） **喫緊**
- (71) 多様な（二重三重の）情報発信：マスメディア、スマートフォン、街区内スピーカーや地域FM局（団地ラジオ）（各商店街、各街区への配信）の活用 **喫緊**

アクション16

適切な一次避難場所確保と避難方法の確立など

プロジェクト16-1 防災訓練の見直し, 充実

(72) モデル住棟を決めた避難行動シートづくり(街区, 住棟ごとの適切な避難場所, 行動方法の確立) **喫緊**

(73) 災害時要配慮者の避難誘導, 支援の関係づくり, 体制づくり **喫緊**

(74) 防災訓練の見直し, 充実(中学生の参加, 障がい者や中国帰国者の参加)

プロジェクト16-2 市営住宅上層階の空き家の避難所活用, 整備

(75) 空き家の避難所向け整備, 目的外使用許可

(76) 運用マニュアル等の作成など

プロジェクト16-3 中央公園への防災設備の設置の検討(9-5 再掲), 京都文教大学敷地, 設備の災害時活用の検討

(再) 中央公園への防災設備の設置の検討

(77) 京都文教大学敷地, 設備の災害時活用の検討

プロジェクト16-4 地域防災組織の充実(各学区自主防災会, 消防団, 水防団など)の検討

(78) 地域防災組織の充実の検討

アクション17

避難後の環境整備

プロジェクト17-1 福祉避難所の機能発揮に向けた準備の検討

(79) 福祉避難所の機能発揮に向けた準備の検討

プロジェクト17-2 長期避難時の必要資材(災害時要配慮者への対応)や拠点等の確保の検討

(80) 長期避難時の必要資材や拠点等の確保の検討

アクション18

災害に耐えられる環境・設備整備

プロジェクト18-1 分譲住宅の耐震化にむけた取組

- (81) 分譲住宅の耐震化に関する公的補助制度の周知
- (82) 耐震化に関する勉強会等の開催の検討

プロジェクト18-2 大規模災害対応のための将来的な検討

- (83) 液状化を想定した対応策の検討
- (84) 堤防の整備，要望検討

テーマ10

まちへの関心を高め，住民がともに見守り，参加する防犯・交通安全活動

アクション19

安全安心なまちづくりに向けた意識向上の取組など

プロジェクト19-1 住民による危険箇所等の把握と防犯に向けた取組

- (85) 安全安心の観点からの見守り活動の充実
- (86) 住民による危険箇所の把握，マップづくり
- (87) 住民による危険箇所における美化活動の充実
- (88) 危険箇所（暗がりなど）樹木の伐採，街路灯の設置
- (89) 安全・危険情報の地域内周知

プロジェクト19-2 防犯カメラの設置，普及，メンテナンス

- (90) 防犯カメラの設置，普及，メンテナンスの更なる支援検討

アクション20

交通安全の確保など

プロジェクト20-1 自転車・自動車による事故防止

- (91) 交通安全の観点からの見守り活動の充実
- (92) 大人の交通マナーの啓発，意識向上に向けた取組の検討
- (93) 中国帰国者（交通ルールの違いを前提とした）の交通安全教室等の実施の検討

プロジェクト20-2 歩行者・通学路の安全の確保

- (94) 横断歩道の場所や拡充の住民での検討，提案
- (95) 一貫校開設までに，開校時の通学路変更等に伴う課題に対する対応の検討

方針Ⅴ

既存用地や商店街の更なる有効活用による生活利便性があり、 にぎわいのあるまちづくり

まちびらきから約40年が経過し、少子高齢化・人口減少が進む中において、向島ニュータウン内に求められる商業施設、商店街の機能には変化が生じています。特に、高齢者等買い物が困難な住民・街区においても身近に必要な生活必需品等を買うことができる利便性のある買い物環境づくりを進めます。

一方、向島ニュータウンには活用できる用地があり、京都市内でも有数の農地が周辺にひろがっています。これらの資源を活かし、ニュータウン内外での人の交流につながる新たな商業機能の検討を進めることで、にぎわいのあるまちを目指します。

また、求められる交通機能の変化にも対応が必要となっていることから、ニュータウン外への移動、買い物など生活に必要なバス等の交通機能の維持・確保にむけた取組を進めるとともに、向島ニュータウンの特性や資源を活かしたニュータウン内の特に高齢者や障がい者の移動に必要な移動手段の検討を進め、ニュータウン内外の移動利便性の向上を図ります。

テーマ11

更に利用しやすい商店街を目指した活用 ～生活に必要なものが手に入る環境～

アクション21

買い物が困難な街区や住民が身近に生活必需品や生鮮食品が買える環境づくり

プロジェクト13-2再掲 高齢者配食サービス、御用聞き、安否確認などを組み合わせた生活支援サービス事業実施の検討

(再) 配食等を組み合わせた生活支援サービスの検討

プロジェクト21-1 高齢者や障がい者の買い物実態調査の実施の検討

(96) 高齢者や障がい者の買い物実態調査の実施の検討

プロジェクト21-2 バリアフリー化による買い物利便性の向上

(97) 支障箇所等調査、改善要望等の検討

テーマ 1 2

既存用地・施設の更なる有効活用
～既存ルールにとらわれない大胆な商業機能～
～向島の資源をいかした商業～

アクション 2 2

にぎわい・商業施設の充実

プロジェクト22-1 向島駅前の活性化

(98) 向島駅前駐輪場の再整備による店舗設置

プロジェクト22-2 6街区商店街の活性化(向島に人が集まる起爆剤としての活用などの検討を含む)

(99) 24号線沿いに外を向いた商業施設整備(道の駅など)の検討

(100) 空き店舗の活用(チャレンジショップなど若い人の出店参入奨励)

(101) 若年者向け割引制度の活用による空店舗出店者の住宅確保

プロジェクト22-3 スポーツ施設跡地活用の検討

(102) スポーツ施設跡地活用の検討

アクション 2 3

向島の資源・特徴を生かした地産地消ビジネス・拠点

プロジェクト23-1 向島の資源・特徴を生かした地産地消ビジネス・拠点等の設置の検討

(103) 既存用地を活用した向島の野菜マルシェの実施の検討

(104) 中国帰国者の住民の力を活かした多文化商業拠点設置の検討

テーマ13

ニュータウン内外の公共交通・移動の利便性向上

アクション24

生活に不可欠なバス機能の維持・充実

プロジェクト24-1 既存路線バス(近鉄バス)の利便性向上に向けた取組

- (105) 既存路線バス(近鉄バス)ルート, 時刻等の改善提案のための交通利用実態調査
- (106) 既存路線バス(近鉄バス)のバリアフリー化の要望
- (107) 既存路線バス(近鉄バス)の増便等利便性向上に向けた住民自身の利用促進の取組

アクション25

向島ニュータウンの特性と状況をふまえた新たな交通機能の検討

プロジェクト25-1 ニュータウン内の新しい交通機能の検討

- (108) 既存スクールバスや医療機関のバスの活用の検討
- (109) 住民, 大学生らが運転手となる自転車タクシーの検討
- (110) 自動運転技術などの導入可能性調査の検討など

方針VI

まちの活性化のための中長期的な土地利用計画の見直し

ビジョンの計画期間では解決が困難な課題について、継続的な検討が求められます。ビジョンに沿った学校跡地の活用検討、それと連動したニュータウン全体の土地利用の見直し、コミュニティミックスのあり方を踏まえた公営住宅の見直し、転用などについて、中長期の視点で検討を継続します。

テーマ14

向島二の丸小学校・向島中学校敷地の活用

アクション26

向島二の丸小学校・向島中学校敷地の活用

プロジェクト26-1 向島NT(地域)の活性化に向けた向島二の丸小学校・向島中学校敷地の活用 (関連プロジェクト:5-3, 8-5)

(111) ビジョンの方針に沿った活用方法の検討 **重点**

テーマ15

土地利用計画の見直し

アクション27

土地利用計画の見直し

プロジェクト27-1 向島二ノ丸小学校・向島中学校敷地その他の有効活用等に向けた土地利用計画の見直しの検討

(112) 土地利用計画(都市計画「一団地の住宅施設」, 用途地域など)の見直しの検討 **重点**

テーマ16

コミュニティミックスの観点をふまえた、 公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証

アクション28

コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証

プロジェクト28-1 コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証

(113) コミュニティミックスの観点をふまえた、公営住宅を始めとするニュータウン内全住宅のあり方の検証 **重点**

4. 推進体制

向島ニュータウンまちづくりビジョンの推進と具体的なアクションプログラムについて検討を続けていくための推進体制として、下記のように進行管理を行う推進会議（仮称）やまちづくり組織の設立、住民主体の取組の活動支援制度について検討を進めます。

①まちづくりビジョンの推進体制の確立（全体の協議体と取組推進の部会組織等）

まちづくりビジョンに位置づけた各取組の推進，継続検討を図るために，進捗を継続的に確認するための場が必要です。向島ニュータウン内の全自治会と連携し，多様なセクターが参加する「ビジョン推進会議（仮称）」を設置します。

●まちづくりビジョンの進行管理及びアクションプログラム継続検討分の更なる検討を行っていく組織を設立

(114) 向島NT内全自治会（※）と連携した「ビジョン推進会議（仮称）」の設置 **重点**

(115) 具体プログラムの継続検討

●継続的な担い手の発掘育成

(116) 担い手の発掘・育成

●推進体制の円滑な運営支援

(117) MJや学生セミナーハウス1階を活用したカフェ等による交流

詳細・具体内容については今後開催予定のコミュニティ活性化WGにおいても検討を行います。

②まちづくりビジョンに基づく住民主体の取組を支援する制度の検討

まちづくりビジョンに位置づけた各取組のうち，市民や市民団体，地域団体等が取り組むものについて，活動を立ち上げる初動期を支援する制度を導入し，市民セクターによる取組を後押しするとともに，自立的，持続的な活動へと育てていくために情報提供やアドバイスなどを行う仕組みの構築を検討します。

●取組の初動期を支援する助成制度の検討

(118) 取組の初動期を支援する助成制度の検討 **重点**

詳細・具体内容については今後開催予定のコミュニティ活性化WGにおいても検討を行います。

③まちづくりビジョンの各事業の実施をサポートするまちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討

まちづくりビジョンの実現に向けて取り組む各事業を実施するために必要な，人的サポート，団体間のコーディネート，資金的サポートなどを確保することのできる，まちづくり組織（まちづくり会社）が必要と考えられることから，その内容について今後検討を進めます。

●資金的サポート（収益事業の実施と課題解決に向けた取組への還元など），人的サポート，団体間のコーディネートなどの実施を想定したまちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討

(119) まちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討

詳細・具体内容については今後開催予定のコミュニティ活性化WGにおいても検討を行います。